



みずほ

市議会だより

第 8 号

平成17年5月1日

発 行
岐阜県瑞穂市議会
編 集
瑞穂市議会広報編集委員会



▲にゅうえん、おめでとう (=穂積幼稚園)

平成17年第1回
瑞穂市議会
定例会

敬老会補助金を増額修正 **321万円を1,000万円へ** 2p

- 土地取得関連2議案を継続審査 … 4p
- 会議規則改正・意見書 …… 5p
- 議員研修報告 6p
- 一般質問～市政を問う～(10人) 7p
- 議員紹介 12p

平成17年第1回瑞穂市議会定例会が、3月4日から22日間の会期で開会した。

本定例会には、市長から提出された議案38件のほか、議員が提出した議会会議規則の一部を改正する議案1件、意見書1件などを審議した。

平成17年度一般会計予算を増額修正し、継続審査となつた2件を除いて、その他の議案はすべて可決し、3月25日に閉会した。

敬老会補助金を増額修正

321万円を1000万円へ

市長から、平成17年度一般会計予算が提出された。予算の総額を118億3百万円と定める議案で、昨年度の当初予算と比べて、5億4200万円（約4・4%）少ない予算額であった。

議会は、予算額を678万9千円増額し、118億978万9千円とする修正案を可決した。これは、321万1千円の予算を見込んでいた敬老会補助金を、1000万円とする内容である。

敬老会事業は、平成15年までは市（それ以前は町）が主催していた。しかし、昨年から自治会などが敬老の日にふさわしい行事を開催することになり、開催した自治会に対して市が補助金を交付することになった。

務 常 委 員 会

議会及び平成17年度一般会計予算が審査された総務常任委員会では、次のように審査をした。

Q 敬老会の対象者と人数は。
A 75歳以上のお年寄りで、約3200人が対象となる。

Q 昨年、各自治会では、どのような敬老会を実施したか。

A 子ども会と連携してふれあいの場をつくったり、

警察署員を講師に招いて「振り込め詐欺」防止の講演を行うなど、それぞれ創意工夫をされた内容であった。

Q 平成17年度の敬老会の基本方針は。

A 昨年と同様、各自治会単位で開催していただきたい。

Q 敬老会は市の主催で、各校区単位で実施した方が良いと思うがどうか。

A 地域の公民館などで実施されば、出席率も高くなり、ふだん触れ合うことの少ないお年寄りも参加できる。地域で開催するメリットも大きい。

Q 芸能を観たり、豪華な食事やお酒を召し上がるには不足するかもしれないが、お茶と菓子程度でも心のこもった敬老会は開催できる。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛する敬老の日にふさわしい行事を考えていきたい。

Q 補助金が、参加者一人あたり800円というのは、いかにも少なすぎる。増額する考えはないか。

A 全部の自治会で敬老会が開催され、対象者全員が参加される場合の経費を見込んでいる。

Q 平成17年度の敬老会は、額で約160万円、1自治会あたりの平均で約2万5千円が支給された。

A 321万1千円の積算根拠は。

Q 平成17年度の敬老会補助金は、総額321万1千円の積算額で、321万1千円の予算額である。

A 予算額を1000万円へ増額する理由は、市長が行わなければならぬ。

Q 今後の市長の対応が注目される。

A 3月25日には、議会が閉会する。

Q 平成17年度の敬老会補助金は、総額321万1千円の積算額で、321万1千円の予算額である。

A 予算額を1000万円へ増額する理由は、市長が行

土地取得関連2議案を 総務常任委員会 継続審査

総務常任委員会

市長から提出された議案のうち、「議案第9号

瑞穂市土地取得事業特別会計条例の制定について」と「議案第36号 平成17年度瑞穂市土地取得事業特別会計予算」の2議案を継続審査とした。

これらの議案は、十八条地内で堀越紡績(株)が所有する土地、約3万8500m²を約12億円で公共用地として先行取得しようとするものである。

議会や、この議案が審査された総務常任委員会では、次のような審査をした。

この土地を将来どのように活用するつもりか。

A この土地には、県が希少野生生物として、また市が天然記念物として

指定しているハリヨの生息する池がある。この池

を保存し、ハリヨの生存する環境を守る公園や、

旧穂積と東南の2カ所で稼動している給食センターを統合した施設などが構想として考えられる。

ている。

Q この土地のうち、約5千m²は既に売却されたと聞く。その実体は。

A 調査した結果、土地の一部は隣接する企業に既に売却済みであり、市

が取得できる面積は3万2779m²となっている。

だけでも、これだけの面積は必要ないのではないか。

A 確かに、公園と給食センターレだけでは広すぎ

ただけで、これだけの面積は必要ないのではないか。

改正後の質問の方式は、一問一答方式と呼ばれ、質問と答弁が交互に繰り返される。質問者が納得できない場合には、視点を変えるなどして、さらに何回でも質問ができる。同じ議題の第1問が終わると、続けて第2問、第3問と順次同じよ

う内容である。

改正後の質問の方式は、

一問一答方式と呼ばれ、質

問と答弁が交互に繰り返さ

れる。質問者が納得できな

対面式に議場を変更

また、議会改革検討特別委員会は、質問席を設けることも決定した。

議場のレイアウトは中央に演壇があり、演壇の左右に市長を中心とする執行部席がある。執行部席に相対する形で議員席があり、傍



会議規則を改正

一般質問が行われる前の3月14日、瑞穂市議会会議規則の一部改正が議員提案され、全会一致で可決した。

改正する規則は、昨年の9月議会定例会で設置された議会改革検討特別委員会が審議し、委員会としての結論が出たので、本会議で委員長の西岡一成議員が提案したものである。

改正の内容は、これまで「同じ議員が同じ議題の質問をするときは3回まで」となっていたが、改正により、この回数制限を撤廃する内容である。

改正後の質問の方式は、

一問一答方式と呼ばれ、質

問と答弁が交互に繰り返さ

れる。質問者が納得できな

い場合には、視点を変えるなどして、さらに何回でも質問ができる。同じ議題の第1問が終わると、続けて第2問、第3問と順次同じよ

う内容である。

改正後の質問の方式は、

一問一答方式と呼ばれ、質

問と答弁が交互に繰り返さ

れる。質問者が納得できな

い場合には、視点を変えるなどして、さらに何回でも質問ができる。同じ議題の第1問が終わると、続けて第2問、第3問と順次同じよ

Q 今後、未満児保育施設建設事業や農業施設建設整備事業などが実施されると予想される。補助金を交付するときは、詳細な基準による要綱を制定すべきと思うがどうか。

A 総務部長 必要に応じて補助金交付要綱をそれぞれ制定することになる。申請の内容によって、市の補助金交付規則で内容を十分精査し、検討を加えて対応する。

▲市長公室長 市長の土地は駅南3自治会に無償貸与されていて、銀行管理の土地で、一般に売却する予定だったそうである。

▲市長公室長 市長の土地は駅南3自治会に無償貸与されていて、銀行管理の土地で、一般に売却する予定だったそうである。



▲満員の乗客を乗せて、大野バスセンターへ出発
(=みずほターミナル)

Q 収支のバランスが最重要

A 市長 収支のバランスを取ることを一番に考えて

Q 17年度予算を編成するにあたり、10年から20年先を見据えた主要施策や方針は。

A 市長 費用と建設投資的な費用がある。投資的費用は活用する長い期間の中での経費という視点で捉え、経常経費は年度ごとで絶対にバランスを維持する考え方である。

Q 取得の経緯は

A 市長 取得の経緯は

Q 17年度の教育方針及び教育の重点目標は何か。

A 教育長 平成17年度の教育方針は、「豊かな市民性を培う瑞穂市教育の推進」

Q 17年度の教育方針は

A 市長 瑞穂市教育の推進は

Q 17年度の教育方針及び教育の重点目標は何か。

A 教育長 平成17年度の教育方針は、「豊かな市民性を培う瑞穂市教育の推進」

Q 17年度の教育方針は

A 市長 瑞穂市教育の推進は

Q 17年度の教育方針及び教育の重点目標は何か。

A 教育長 平成17年度の教育方針は、「豊かな市民性を培う瑞穂市教育の推進」

Q 17年度の教育方針は

A 市長 瑞穂市教育の推進は

Q 17年度の教育方針は

</div

市長 駅周辺整備に必要ならば

市長

Q 昨年12月28日に市長個人の土地が、市に売却された。多くの市民から市政に対する不信感が出ているが、市長はどう考えるか。

A 市長 私の土地は民間に売却するつもりであった。しかし、穂積駅の周辺整備で用地確保の問題が議論されたとき、当面すぐ確保で

防災について

Q 9月議会でも防災無線について質問したが、その後どの程度進んだか。

A 総務部長 新年度は、現在の防災行政無線を補完するFM放送を使ったシステムを考えている。また、

Q 本庁舎の防災無線を穗積本庁舎で遠隔操作ができるような工事やスピーカーの修繕も予定している。

Q 牛牧小学校の児童数は、将来増加する見込みである。校舎増築の計画は。

A 教育長 19年度中の増

市長 地元で協議された



堀 孝正議員

市長 地元で協議された



西岡一成議員



▲用地取得を検討する別府保育所

Q 地域住民の生涯学習の場として、地域の防災の拠点として、緑の住空間・公園として、モデル地区として十分な土地を確保すべき十分な協議を重ねて建設すべきと考えるがどうか。

Q 本巣縦貫道の西側に用地を取得すると聞く。園舎と運動場が分離しないよう、現場の意見を聞きながら、十分な協議を重ねて建設すべきと考えるがどうか。

Q 堀越紡績所有の土地は農村工業導入地域である。ここは市が環境整備して、雇用の創出と財政確保のため企業を誘致し、税収の増額に対応すべきである。給食センターの建設は、いかがなものか。

Q 堀越紡績所有の土地は農村工業導入地域である。ここは市が環境整備して、雇用の創出と財政確保のため企業を誘致し、税収の増額に対応すべきである。給食センターを造る場合に、ここは良い場所だと漠然と

別府保育所の用地は

Q 本巣縦貫道の西側に用地を取得すると聞く。園舎と運動場が分離しないよう、現場の意見を聞きながら、十分な協議を重ねて建設すべきと考えるがどうか。

Q 堀越紡績所有の土地は農村工業導入地域である。ここは市が環境整備して、雇用の創出と財政確保のため企業を誘致し、税収の増額に対応すべきである。給食センターの建設は、いかがなものか。

Q 地域住民の生涯学習の場として、地域の防災の拠点として、緑の住空間・公園として、モデル地区として十分な土地を確保すべき十分な協議を重ねて建設すべきと考えるがどうか。

Q 本巣縦貫道の西側に用地を取得すると聞く。園舎と運動場が分離しないよう、現場の意見を聞きながら、十分な協議を重ねて建設すべきと考えるがどうか。



浅野楔雄議員

17年度中に方向づけを

市民部長

Q 16年度の学童保育（放課後児童クラブ）は約40人だが、「次世代育成支援計画」では120人と記されている。その根拠は。

A 市民部長 受入可能な定員を120人と定めてある。2年後には各校下に1ヶ所で210人となつているが、具体策は。

Q 2年後には各校下に1ヶ所で210人となつているが、具体策は。

A 市民部長 目標数値を定め、地域で実現する予定である。

Q 今、各地域いろいろと試行的にやつていただいているが、それを定に違反している。この実態をどう思うか。

Q 校下によつて場所、指導員の待遇、親の負担などを公平であり、「住民は地方自治法の規定に違反している。この実態をどう思うか。

Q 校下によつて場所、指導員の待遇、親の負担などを公平であり、「住民は地方自治法の規定に違反している。この実態をどう思うか。

Q 社会福祉協議会は、配分先を障害者などの個人からボランティア団体に変更した。その経緯と理由は。

Q 15年度までは、ひとり暮らしの高齢世帯などに2~3千円相当を分配した。16年度は、市内



▲みずほバスターミナルとなった松野市長の土地



熊谷祐子議員

市民部長

達成できるよう、場所の選定など今後検討したい。

Q 16年度の学童保育（放課後児童クラブ）は約40人だが、「次世代育成支援計画」では120人と記されている。その根拠は。

A 市民部長 受入可能な定員を120人と定めてある。2年後には各校下に1ヶ所で210人となつているが、具体策は。

Q 2年後には各校下に1ヶ所で210人となつているが、具体策は。

A 市民部長 目標数値を定め、地域で実現する予定である。

Q 今、各地域いろいろと試行的にやつていただいているが、それを定に違反している。この実態をどう思うか。

Q 校下によつて場所、指導員の待遇、親の負担などを公平であり、「住民は地方自治法の規定に違反している。この実態をどう思うか。

Q 社会福祉協議会は、配分先を障害者などの個人からボランティア団体に変更した。その経緯と理由は。

Q 15年度までは、ひとり暮らしの高齢世帯などに2~3千円相当を分配した。16年度は、市内

議員紹介です

母と介護 棚瀬悦宏

わが家には、ひとりで生活するのが少し困難な、92歳のおふくろがいます。夜になると時々徘徊し、話をすると夢物語のように話し掛けられます。

それでも、体は丈夫で、何処へでもカマをもつては出かけ、草刈るのが得意です。

親子老々で、続くかぎり一緒に生活して行るのが、自然の姿であるのが得意です。

星川睦枝

1944年（昭和19年）11月20日三重県鳥羽市に生まれ、6人兄弟の末っ子、昭和19年8月頃父は、太平洋戦争に出征。その時私はお腹の中でした。その通知が届きました。母が何ヶ月後19年11月生まれ、年も変わり20年2月頃に父の戦死のお腹の中でした。その年、全家族9人の生活が始まりました。35才、姑2人、子供6人、全家族9人の生活が始まりました。35才の

還暦を迎えて

我が家には、ひとりで生活するのが少し困難な、92歳のおふくろがいます。夜になると時々徘徊し、話をすると夢物語のように話し掛けられます。

それでも、体は丈夫で、何処へでもカマをもつては出かけ、草刈るのが得意です。

親子老々で、続くかぎり一緒に生活して行るのが、自然の姿であるのが得意です。

さて女一人の手で私達を育て、時には厳しく、又有る時は優しく強い母でした。昭和43年4月に今の夫に巡り会い結婚、男子2人に恵まれ、岐阜の地に来て35年以上の月日が流れました。私が45才の頃父は、太平洋戦争に参りました。私は元気に元の体をとり戻し退院出来ました。その時ほど心から感謝と、

ろうと、思っている矢先に、一昨年の12月頃、私が予期せぬ病気になり、急きよ入院することになりました。こんな時に、おふくろを独りにさせておくことはできず、そこで早く相談し、介護の認定を受けるべく介護施設への紹介をして貰いました。

お陰で、温かみのあるグループホームでお世話になることができました。

これまで、もとす広域連合介護保険の立ち上がりから、関わって

嬉しく思つた事はございません。これから的人生をどう生きてゆくかいろいろ考へ、今迄お世話になつた地域の人々に一つでも何か出来ればと、議会に出る事を決意しました。年を重ねるたびに生まれ育つた古里を思い出し、又母の強さと人生を振り返りながら前向きに進んでいきたいと思います。

瑞穂市地域の発展人々

参りましたが、社会的に世話になる、わが母親のことになると、おのずと夢と現実とが入り混じる思いです。これからは、地方分権と少子高齢化が進むにつれ、介護の問題が身近な問題として進展していきます。

高齢化社会にふさわしい、ぬくもりのある場づくりが問われてくると思いま



◆新年度予算もスタートしました。当市議会も市民の皆様の声を聞き、生활者の立場で議論し、人生歩みたいと思ひます。今はかわいい孫子にも恵まれ4月から1年生になります。この子供達のために一生懸命努力してまいりますので最後まで、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

（小寺）

◆議会で審議される議案は、どれ一つをとっても市民生活に密着したものが必然性・正当性から内容の是非に至るまで、委員会や議会で審議されています。公開されていませんので傍聴にお越しください。

（若園）

編集後記

いつの時代でも、人と人が支え合える、住みよい瑞穂市へと、活力を見出していきました。

◆今年の議員研修で、地方自治体は二元的代表制であり、公選で選ばれた市長と議会は対等の立場であり、議会は、政策提案や条例提案できる能力を身につける必要があることを学んだ。

◆瑞穂市議会は、議会改革特別委員会等を議員提案で設置し、政策立案能力を強めつつある。また、乳幼児医療費を小学校就学前まで無料にする条例を議員提案で可決するなど議会改革が進みつつある。